

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語A
科目基礎情報					
科目番号	0047	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	MY WAY English Communication II (三省堂)				
担当教員	飯野 一彦				
到達目標					
<input type="checkbox"/> 教科書に出てくる英単語の意味と発音を理解できる。 <input type="checkbox"/> 教科書に出てくる英熟語の意味を理解できる。 <input type="checkbox"/> 教科書に出てくる英文法の事項を理解できる。 <input type="checkbox"/> 上記の理解に基づきながら、教科書の英文を読み、内容を理解することができる。 <input type="checkbox"/> 音声から教科書の英文の内容を理解し、また英文を音読することができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	教科書に出てくる英単語の意味と発音を正確に理解できる。	教科書に出てくる英単語の意味と発音を理解できる。	教科書に出てくる英単語の意味と発音を理解できない。		
評価項目2	教科書に出てくる英文法の事項を正確に理解できる。	教科書に出てくる英文法の事項を理解できる。	教科書に出てくる英文法の事項を理解できない。		
評価項目3	教科書の英文を読み、内容を正確に理解することができる。	教科書の英文を読み、内容を理解することができる。	教科書の英文を読み、内容を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
準学士課程 E-3					
教育方法等					
概要	本授業では、基本的な語彙と熟語を理解し、文法に基づいて、基本的な英文を理解できるようにする。				
授業の進め方・方法	本授業では、まず基本的な語彙と熟語をリスニングや発音を含めて学習する。次に、習得した語彙をもとに、文法に基づいて正しく英文を理解する訓練を行う。				
注意点	本授業では、予習・復習を確実にを行い、地道に学習を継続することが要求される。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業内容・方法の概要説明	授業内容・方法の理解	
		2週	Lesson 1: Pictogram	ピクトグラムの理解、および文法では、SV, SVO, SVCを理解する。	
		3週	Lesson 1: Pictogram	ピクトグラムの理解、および文法では、SV, SVO, SVCを理解する。	
		4週	Lesson 1: Pictogram	ピクトグラムの理解、および文法では、SV, SVO, SVCを理解する。	
		5週	Lesson 2: New Year's Celebrations	世界のお正月の文化的な違いの理解、および文法では、SVOO, SVOCを理解する。	
		6週	Lesson 2: New Year's Celebrations	世界のお正月の文化的な違いの理解、および文法では、SVOO, SVOCを理解する。	
		7週	Lesson 2: New Year's Celebrations	世界のお正月の文化的な違いの理解、および文法では、SVOO, SVOCを理解する。	
		8週	前期中間試験	既習の学習事項の理解	
	2ndQ	9週	Lesson 3: Eco-friendly Inventions	環境にやさしい発明品に関する理解、および文法では、形式主語・形式目的語の理解	
		10週	Lesson 3: Eco-friendly Inventions	環境にやさしい発明品に関する理解、および文法では、形式主語・形式目的語の理解	
		11週	Lesson 3: Eco-friendly Inventions	環境にやさしい発明品に関する理解、および文法では、形式主語・形式目的語の理解	
		12週	Lesson 4: Brazil - Far away or Close	ブラジルの文化理解、および文法では、知覚動詞・使役動詞の理解	
		13週	Lesson 4: Brazil - Far away or Close	ブラジルの文化理解、および文法では、知覚動詞・使役動詞の理解	
		14週	Lesson 4: Brazil - Far away or Close	ブラジルの文化理解、および文法では、知覚動詞・使役動詞の理解	
		15週	Lesson 4: Brazil - Far away or Close	ブラジルの文化理解、および文法では、知覚動詞・使役動詞の理解	
		16週	前期末試験	既習の学習事項の理解	
後期	3rdQ	1週	Lesson 5: Eye Contact	言語以外のコミュニケーションの理解、および文法では、関係代名詞の理解	
		2週	Lesson 5: Eye Contact	言語以外のコミュニケーションの理解、および文法では、関係代名詞の理解	
		3週	Lesson 5: Eye Contact	言語以外のコミュニケーションの理解、および文法では、関係代名詞の理解	
		4週	Lesson 6: A Space Elevator	最新科学技術の理解、および文法では、現在完了形・現在完了進行形の理解	
		5週	Lesson 6: A Space Elevator	最新科学技術の理解、および文法では、現在完了形・現在完了進行形の理解	
		6週	Lesson 6: A Space Elevator	最新科学技術の理解、および文法では、現在完了形・現在完了進行形の理解	

4thQ	7週	Lesson 6: A Space Elevator	最新科学技術の理解、および文法では、現在完了形・現在完了進行形の理解
	8週	後期中間試験	既習の学習事項の理解
	9週	Lesson 7: An Encouraging Song	歌が与える影響についての理解、および文法では、助動詞・固有名詞の理解
	10週	Lesson 7: An Encouraging Song	歌が与える影響についての理解、および文法では、助動詞・固有名詞の理解
	11週	Lesson 7: An Encouraging Song	歌が与える影響についての理解、および文法では、助動詞・固有名詞の理解
	12週	Lesson 8: Language Contact	言葉と文化の関係の理解、および文法では、仮定法の理解
	13週	Lesson 8: Language Contact	言葉と文化の関係の理解、および文法では、仮定法の理解
	14週	Lesson 8: Language Contact	言葉と文化の関係の理解、および文法では、仮定法の理解
	15週	Lesson 8: Language Contact	言葉と文化の関係の理解、および文法では、仮定法の理解
	16週	後期期末試験	既習の学習事項の理解

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発音できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3					

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0